

Imaging Team

掲載内容

1) **MetaMorph最新情報**

バージョン 7.6.2 がリリースされました

2) **総合カタログ 2009 Vol.4 配布開始**

新しい当社総合カタログ 2009 Vol.4 が完成しました

3) **当社オリジナル Z 軸モータ販売開始**

4) **カメラ関連情報**

Photometrics 社製 Evolve-でバンドルパッケージ販売開始

Q Imaging 社製 EXi Blue 販売開始

Photometrics 社製 CoolSNAP HQ2 キャンペーン販売開始

5) **MetaMorph の制御について**

浜松ホトニクス社製 C7773 波長切り替え光源が MetaMorph で制御できることを確認

ニコン社製エクリプス Ti の Intensilight のシャッター機能および、輝度調整機能（内蔵 ND）の制御ができることを確認

6) **MetaMorph ー口メモ**

MetaMorph で使用されるジャーナル(Journal)、タスクバー(Taskbar)、ツールバー(Toolbar)の説明

1) MetaMorph/MetaFluor 最新情報

バージョン 7.6.2 がリリースされました。

主な改良点は下記になります。

- Andor 社製カメラドライバの改良
- Olympus 社製 DP70 動作が改良されました。
- Q Imaging 社製 EXi Blue をサポートしました。
- Physik E710 の 300um レンジの XYZ コンポーネントをサポートしました。
- OptiGrid の動作が改良されました。
- Auto Align 機能で回転方向の補正ができるようになりました。
- Multi Dimensional Acquisition で EMCCD カメラのノーマルゲインと EM ゲインをそれぞれ設定できるようになりました。
- SVI-Huygens deconvolution software の .ICS ファイルをサポートしました。
- Review Multi Dimensional Data で”#”がファイル名に使用されている場合、“Warning”が表示されるようになりました。
- Scan Slide が改良されました。

現在ご使用のバージョンが 7 でメンテナンス期限(Maintenance Expires)が **2009 年 6 月 4 日以降**の ID につきましては<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/> から **MM762-32.zip**(MM762-64.zip) がダウンロードでき、バージョン 7.6.2 へアップデートできます。

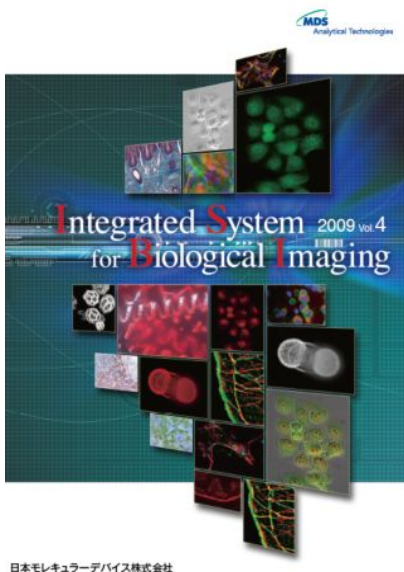
現在ご使用のバージョンが 7 でメンテナンス期限が **2009 年 6 月 3 日以前**の ID につきましては、メンテナンス期限を 1 年延長(有償)することによりバージョン 7.6.2 へのアップデートが可能になります。

現在ご使用のバージョンが 6 以前の ID の場合は、バージョン 7 へのアップグレード(有償、1 年間のメンテナンス有効)を行っていただきますと、バージョン 7.6.2 へのアップグレードを行うことができます。

2) 総合カタログ 2009 Vol.4 配布開始

新しい当社総合カタログ 2009 Vol.4 が完成しました。

MAC6000 シリーズ、CoolLED, OptiGrid, Chamliide シリーズなど新しい製品も掲載されております。カタログご希望の方は当社担当者までご連絡ください。



日本モレキュラーデバイス株式会社

構成要素	型番	動作状況	備考
カメラ	Andor DU-690E	正常	
カメラドライバ	Andor Genie	正常	
ソフトウェア	MetaMorph 7.6.2	正常	
XYZ ステージ	Physik E710	正常	
アフォーカス装置	OptiGrid	正常	
2軸/3軸ステージ	ScanSlide	正常	

3) 当社オリジナル Z モータ販売開始

当社オリジナル Z モータの販売を開始しました。

マニュアル顕微鏡へ取り付けて、Z 軸を移動させながらの 3D 画像取得を行うことができます。

対応済み顕微鏡やデモのご依頼は、当社担当者までお問い合わせください。

特長

- コントローラにて上限位置、下限位置、ホームポジションを設定できます。
 - コントローラにて微動(Fine)、粗動(Coarse)のいずれも動かすことができます。
 - MetaMorph など Meta Imaging シリーズソフトウェアで制御が可能です。移動速度の変更も可能です。
- ※移動速度の変更はターミナルソフトウェアからコマンド入力することも可能です。

定価: ¥450,000-(消費税別)



4) カメラ関連情報

Photometrics 社製 Evolve+でバンドルパッケージ販売開始

EMCCD カメラ Evolve-と DualView をバンドルにしたパッケージです。

特別販売価格 ¥6,280,000-(消費税別)になります。

また、Evolve- 2 台と DualCam のバンドルパッケージも用意しております。

特別販売価格 ¥11,000,000-(消費税別)

photometrics®
evolve™



+

Dual-View2



Q Imaging 社製 EXi Blue 販売開始

EXi Blue がリリースされました。好評の Retiga EXi をベースにして、14ビット、30MHz デジタイザを搭載し高いダイナミックレンジで高速読み出しを可能にしました。

主な仕様は下記になります。

- ピクセル数: 1394×1040
- ビニング: 2,4,8
- 露光時間: 10µs to 17.9min
- CCD タイプ: Sony ICX285 インターライン CCD
- ピクセルサイズ: 6.45µm × 6.45µm
- 冷却温度: 0°C (温度制御)
- デジタイザ: 8bit/14bit 30.20.10MHz
- フレームレート: 15fps 全ピクセル @ 14 bits (30MHz)

定価 ¥1,980,000-(消費税別)

現在キャンペーンを行っておりまして、スライド式 RGB 液晶カラーフィルタ モジュール(取付は F マウント接続)と EXi Blue でキャンペーン価格 ¥1,980,000-(消費税別)になります。



Photometrics 社製 CoolSNAP HQ2 キャンペーン販売開始

CoolSNAP HQ2 のキャンペーン販売が開始されました。

ユーザー販売特別価格 ¥2,000,000-(消費税別)

(2009 年 12 月 31 日までの注文分)



5) MetaMorph の制御について

浜松ホトニクス社製 C7773 高速波長切り替え装置が MetaMorph で制御できることを確認しました。

MetaMorph 上からフィルターホイールなどと同様に波長切り替え、シャッター開閉を行いながら画像取得を行うことができます。

デバイスストリーミング画像取得にも対応できますので、高速の 2 波長画像取得も行うことができます。

C7773 の制御は、パラレルケーブルとシリアルケーブル(ストレート)を用いて行います。

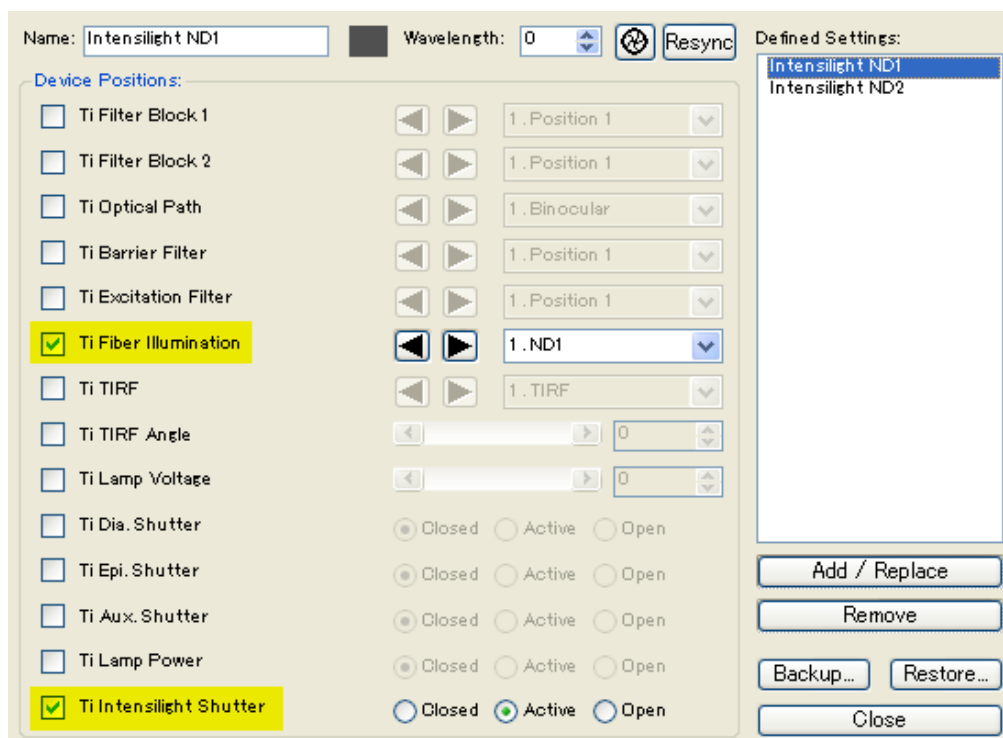
詳細につきましては、当社担当者までお問い合わせください。

※C7773 は 150W のキセノン光源をグレーティングにて分光し、高速に波長切り替えを行うことのできる装置です。光ファイバーにて光を導入します。



ニコン社製エクリプス Ti の Intensilight のシャッター機能および、輝度調整機能（内蔵 ND）の制御を確認しました。

エクリプス Ti と Intensilight をシリアルケーブルで接続し、エクリプス Ti を PC と USB で接続することで Intensilight のシャッター機能および、輝度調整機能（内蔵 ND）ともに問題なく MetaMorph で制御できることを確認しました。



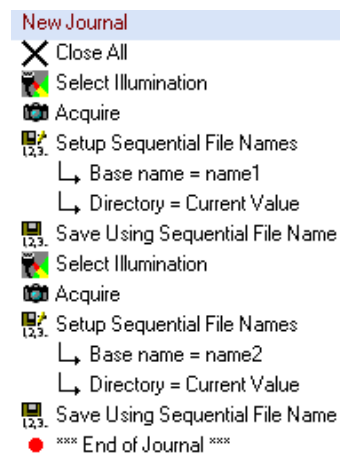
6) MetaMorph 一口メモ

今回は、MetaMorph で使用されるジャーナル(Journal)、タスクバー(Taskbar)、ツールバー(Toolbar)の説明をいたします。

ジャーナル(Journal)

ジャーナルとは、複数の機能を組み合わせて、一回の操作で連続的に行うことができるマクロ機能で、拡張子 JNL ファイルとして保存されます。この JNL ファイルを実行しますと、作成したジャーナルを動作させることができます。実行は Run Journal (Journal メニュー)、タスクバー、ツールバーなどから行います。編集は Journal メニュー、Edit Journal から行います。

※マクロ機能以外に Variable といった変数を使用し、If 文(条件文)などを使用することも可能です。



タスクバー(Taskbar)

デスクトップ上に表示させて、各機能、ジャーナルをボタン上に割り当てて、ワンクリックで実行することができます。また、異なるタスクバーを複数作成し、タスクバー上から異なるタスクバーを表示させることも可能です。Journal メニュー、Taskbars, Edit Taskbar から編集を行い、拡張子 JTB ファイルとして保存されます。(Journal メニュー、Taskbars, Load Taskbar で読み出し表示させます。)

※シフトキーを押しながらタスクバー上のボタン(ジャーナル割り当て)をクリックしますとジャーナルの編集用ダイアログ(Edit Journal)へショートカットすることができます。



ツールバー(Toolbar)

Meta Imaging Series Administrator 内で作成・編集し、各種機能、ジャーナルを各ボタン(アイコン)に割り当てます。MetaMorph 起動後に、Window メニュー、Toolbars から選択して表示することができます。ツールバーの場合、アイコン化でビジュアル的にわかりやすくすることが可能になります。(アイコン選択可能)

テキストの表示非表示、アイコンサイズの変更、表示場所、表示形態の変更も可能です。

